

■ タイムテーブル

日付	時刻	セッション
10月20日(火)	12:45	受付
	13:30	
		開会
	13:30	エアロゾル(測定法)
	14:30	
		休憩
	14:50	遠隔計測
	15:45	
		休憩
	16:05	OHラジカル
	16:35	
		休憩
17:00	ポスターセッション	
19:00		
10月21日(水)	9:00	エアロゾル(観測)
	10:30	
		休憩
	11:00	大気-陸面物質交換
	12:00	
		休憩(昼食)
	13:30	同位体比の大気化学への応用
	14:45	
	14:45	ポスターセッション
	16:50	
17:00	会員総会/授賞式	
18:30		
18:30	懇親会	
21:00		
10月22日(木)	9:00	衛星観測
	9:45	
		休憩
	10:05	東シナ海航空機観測
	11:15	
		休憩
	11:35	大気観測に基づく発生源解析
	12:05	
		休憩(昼食)
	13:30	モデル研究
14:55		
	閉会	

1日目 10月20日 (火)		口頭発表 (大会議室101)		
時間	講演時間	番号	講演者	タイトル
エアロゾル:測定法(座長:伏見暁洋)				
13:30-13:45	15	K-1	○茂木信宏, 近藤豊, 竹川暢之(東大先端研), 中村新一(青山学院大学機器分析センター)	散乱光と白熱光強度の方位依存性を用いた炭素エアロゾルの形状判定法
13:45-14:00	15	K-2	○茂木信宏1, 近藤豊1, 中山智喜2, L. Sahu1, 北和之3, 石谷拓也1, 木名瀬健3, 松見豊2 (1 東大先端研, 2 名大STE研, 3 茨城大理学部)	フィルター光吸収法(PSAP, COSMOS)の応答特性を解釈するための物理モデル
14:00-14:15	15	K-3	○石谷拓也1, 近藤豊1, 茂木信宏1, 北和之2, 木名瀬健2, 中山智喜3, 松見豊3 (1 東大先端研, 2 茨城大理, 3 名大STE研)	ブラックカーボン粒子の光学特性における実験と理論の比較
14:15-14:30	15	K-4	○宮田賢, 鶴野浩行, 坂根仁(住重試験検査株), 西山文隆(広島大院・工)	PIXE法とNAA法によるエアロゾル中微量元素分析結果の比較
14:30-14:50	20		休憩	
遠隔計測(座長:森野勇)				
14:50-15:05	15	K-5	○後藤秀美, 村田功(東北大学・大学院環境科学研究科), 中島英彰, 森野勇(国立環境研究所)	フーリエ変換型赤外分光計を用いたつくばにおけるO <sub>3</sub> , HCl, HFの高度分布観測
15:05-15:20	15	K-6	○中里真久, 永井智広, 酒井哲, 内野修, 真野裕三(気象研究所)	3波長差分吸収ライダーによるオゾン及び二酸化硫黄の同時観測
15:20-15:45	25	K-7	○長澤親生, 阿保真, 柴田泰邦(首都大学東京システムデザイン研究科), 永井智広, 中里真久, 酒井哲(気象研), 塚本誠, 菅田高行(英弘精機)	大気中のCO <sub>2</sub> 垂直濃度分布の観測を目的とした次世代差分吸収ライダーの開発
15:45-16:05	20		休憩	
OHラジカル(座長:猪俣敏)				
16:05-16:20	15	K-8	○長田拓也1, 山崎晃司1, 中嶋吉弘1, 加藤俊吾1, 松永壮2, Thomas Karl3, James Greenberg3, Andrew Turntseed3, Eric Apel3, Alex Guenther3, Peter Harley3, Jim Smith3, 梶井克純1 (1 首都大学東京大学院・都市環境科学研究科, 2 財団法人石油産業活性化センター・石	コロラド州の針葉樹林における2008年夏季の大気集中観測

			油基盤技術研究所, 3 Atmospheric Chemistry Division, National Center for Atmospheric Research)	
16:20- 16:35	15	K- 9	○加藤俊吾, 佐藤忠, 梶井克純(首都大 学東京大学院・都市環境 科学研究科)	GC分析における未同定VOCのOH 反応性寄与の推定法
16:35- 17:00	25		休憩、ポスター会場移動	
ポスターセッション (大会議室102)				
17:00- 18:00	60		ポスター:奇数番号	
18:00- 19:00	60		ポスター:偶数番号	
19:00- 20:30			運営委員会 (小会議室407)	
2日目 10月21日 (水)				
口頭発表 (大会議室101)				
エアロゾル:観測(座長:茂木信宏)				
09:00- 09:25	25	K- 10	○古谷浩志 <sup>1</sup> , 植松光夫 <sup>1</sup> , W-PASS 辺 戸岬集中観測共同研究 グループ2(1 東大海洋研, 2 その他)	2008年春季W-PASS 辺戸岬集中 観測:観測の概要と単一微粒子 質量分析法(ATOFMS)によるエアロ ゾルの化学組成解析
09:25- 09:40	15	K- 11	○宮崎雄三, 河村公隆, 澤野真規(北 大・低温研)	夏季の西部北太平洋上における海 洋生物起源の有機エアロゾル
09:40- 10:05	25	K- 12	○篠塚陽平(Y. Shinozuka) <sup>1,*</sup> , A. D. Clarke <sup>1</sup> , P. F. DeCarlo <sup>2,3,**</sup> , J. L. Jimenez <sup>2,4</sup> , E. J. Dunlea <sup>2</sup> , G. C. Roberts <sup>5</sup> , J. M. Tomlinson <sup>6,***</sup> , D. R. Collins <sup>6</sup> , S. G. Howell <sup>1</sup> , V. N.Kapustin <sup>1</sup> , C. S. McNaughton <sup>1</sup> and J. Zhou <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> School of Ocean and Earth Science and Technology, University of Hawaii, <sup>2</sup> Cooperative Institute for Research in the Environmental Sciences, University of Colorado, <sup>3</sup> Dept. of Atmospheric and Oceanic Sciences, University of Colorado, <sup>4</sup> Dept. of Chemistry and Biochemistry, University of Colorado, <sup>5</sup> Center for Atmospheric Sciences, Scripps Institution of Oceanography, <sup>6</sup> Department of Atmospheric Sciences, Texas A&M University, ○* now at: NASA Postdoctoral Program, NASA エイムズ 研究所, ** now at: Paul	雲凝結核特性のリモートセンシング に関わるエアロゾル光学特性 と有機質量比との関係: メキシコ中心部とアメリカ西海岸で のMILAGRO/INTEX-B飛行機 観測から

			Scherrer Institut, Switzerland, *** now at: Pacific Northwest National Laboratory)	
10:05-10:30	25	K-13	○鶴田治雄(東大CCSR), Jinchula Chotpitayasunon, Boossarasiri Thana(Chulalongkorn Univ.), Pradeep Khatri, 高村民雄(千葉大CEReS), 須藤重人, 米村正一郎(農業環境技術研究所), 世良耕一郎(岩手医大サイクロトンセンター), 齊藤義弘(日本アイソトープ協会滝沢研究所), 白砂裕一郎, 平野耕一郎(横浜市環境科学研究所), 早坂忠裕(東北大CAOS), 及川栄治, 井上豊志郎, 中島映至(東大CCSR)	タイのピマイにおける大気エアロゾルの化学特性と光学特性
10:30-11:00	30		休憩	
大気-陸面物質交換(座長: 豊田栄)				
11:00-11:15	15	K-14	○三枝信子1, 高橋善幸1, 宮田明2 (1 国環研・地球環境研究センター, 2 農環研・大気環境研究領域)	陸域生態系-大気間の温室効果気体及び反応性気体の交換過程-分野間連携による観測サイト・ネットワークの新たな展開-
11:15-11:30	15	K-15	○米村正一郎1, 弓野未来2, 川上絢子3, 宮田綾2, 和穎朗太1, 莫文紅1, 北和之2, 川島茂人3 (1 農業環境技術研究所, 2 茨城大学理学部, 3 京都大学農学研究科)	土壌ガス代謝自動測定システムの開発
11:30-11:45	15	K-16	○下山宏1,2, 笹川基樹2, 篠原梓3, S. Maksyutov2, M. Arshinov4, D. Davydov4, A. Fofonov4, O. Krasnov4, N. Fedoseev5, B. Belan4, 井上元6, 町田敏暢2 (1 北大低温研, 2 環境研, 3 地球・人間環境フォーラム, 4 トムスク大気光学研, 5 ヤクーツク永久凍土研, 6 総合地球研)	タワーCO2濃度を用いたシベリアにおける生態系呼吸量分布の定性的評価
11:45-12:00	15	K-17	○酒井正治1, 村野健太郎2, 岡田直紀3 (1 森林総合研究所, 2 法政大学, 3 京都大学)	大気が森林環境に及ぼす影響
12:00-13:30	90		休憩(昼食)	
同位体比の大気化学への応用(座長: 山岸洋明)				
13:30-13:45	15	K-18	○河村公隆, 渡辺智美(北海道大学低温科学研究所)	大気エアロゾル中の低分子ジカルボン酸の分子分布と安定炭素同位体比

13:45-14:00	15	K-19	○角皆潤1, 小松大祐1, 代田里子1, 中川書子1, 野口泉2 (1 北大院理, 2 北海道環境科学研究センター)	2007年2月に利尻島で観測された高三酸素同位体組成異常を示す降水中の硝酸イオンの起源について
14:00-14:15	15	K-20	○梅澤拓1, 町田敏暢2, 青木周司1, 中澤高清1 (1 東北大院理, 2 国環研)	航空機によるメタン同位体比観測に基づく西シベリア域のメタン放出源の同定
14:15-14:30	15	K-21	○和田龍一 1, Julie K. Pearce1, 2, 中山智喜1, 松見豊1, 井上元3, 檜山哲哉4, 柴田隆5 (1 名大STE 研, 2 JSPS, 3 地球研, 4 名大水循環センター, 5 名大院環境)	陸域炭素循環の解明を目指した二酸化炭素同位体比観測
14:30-14:45	15	K-22	○豊田栄1, 矢野翠1, 早川敦2, 秋山博子3, 西村誠一4, 須藤重人3, 木庭啓介5, 山田桂大1, 吉田尚弘1, 八木一行2 (1 東工大・総理工, 2 秋田県立大, 3 農環研, 4 中央農研, 5 東京農工大)	アイソトプマー比を用いた農耕土壌起源N <sub>2</sub> Oのキャラクターゼーションおよび全球放出量推定
ポスターセッション (大会議室102)				
14:50-15:50	60		ポスター: 奇数番号	
15:50-16:50	60		ポスター: 偶数番号	
16:50-17:00	10		休憩	
17:00-18:30	90		大気化学研究会 会員総会・授賞式 (大会議室101)	
18:30-20:30	120		懇親会 (1F レストラン エスポワール)	
3日目 10月22日 (木)				
		口頭発表 (大会議室101)		
衛星観測 (座長: 香川晶子)				
09:00-09:15	15	K-23	○森野勇, 内野修, 宮本祐樹, 田中智章, 菊地信行, 吉田幸生, 横田達也 (国立環境研究所)	GOSAT TANSO-FTS SWIR から導出したCO <sub>2</sub> 及びCH <sub>4</sub> カラム平均濃度の地上設置 高分解能 FTS 観測データによる初期検証
09:15-09:30	15	K-24	○Yasuko Kasai1, Philippe Baron1, Satoshi Ochiai1, Jana Mendrok1, Tomohiro Sato1, Joachim Urban2, Donal Murtagh2, Joakim Moller2, Takeshi Manabe3, Kenichi Kikuchi4, Toshiyuki Nishibori4 (1 National Institute of Information and Communications Technology, 2 Chalmers University of Technology, 3	国際宇宙ステーションからの地球大気化学観測 - Estimation of SMILES observation capability -

			Osaka Prefecture University, 4 Japan Aerospace Exploration Agency)	
09:30- 09:45	15	K- 25	○塩谷雅人(京都大学・生存圏研究所), 高柳昌弘, 佐野琢己(JAXA・ 宇宙科学研究本部・ISS科学プロジェクト 室), SMILESミッションチーム	JEM/SMILES ミッションによる観測 (速報)
09:45- 10:05	15		休憩	
東シナ海航空機観測(座長: 篠塚陽平)				
10:05- 10:20	15	K- 26	○近藤豊(東大先端研), A-FORCE Science Team	A-FORCE (Aerosol Radiative Forcing in East Asia) 観測の実施
10:20- 10:35	15	K- 27	○北和之, 矢野雅大(茨城大・理), 近藤 豊, 竹川暢之, 茂木信宏, 大島長(東京大・先端研), 小池真(東大 院・理)	春季における黄海～東シナ海上空 でのCO 増大の航空機観測
10:35- 11:00	25	K- 28	○大島長1, 近藤豊1, 茂木信宏1, 竹川 暢之1, 小池真2, 北和之3, A-FORCE サイエンスチーム(1 東大・先 端研, 2 東大・院理, 3 茨城大)	東シナ海・黄海上の自由対流圏中 で観測されたブラックカーボン の輸送過程
11:00- 11:15	15	K- 29	○小池真(東大・理), 飯田絵里菜, 竹川 暢之, 茂木信宏, 近藤豊, 大島長, 松井仁志, 梶野瑞王(東大・先 端研), 北和之(茨城大)	航空機観測により得られた東シナ 海・黄海の層雲・層積雲の 雲微物理特性
11:15- 11:35	20		休憩	
大気観測に基づく発生源解析(座長: 梅澤拓)				
11:35- 11:50	15	K- 30	○横内陽子, 齊藤拓也, 大木淳之, 向井 人志(国立環境研究所)	大気中反応性有機ヨウ素化合物の 観測と発生源解析
11:50- 12:05	15	K- 31	○久保恵美1, 遠嶋康徳2, 向井人史2, 山岸洋明2, 谷本浩志2, 北和之1(1 茨大・理工, 2 国立環境研)	O <sub>2</sub> /ΔCO <sub>2</sub> 比及びΔCO/ΔCO <sub>2</sub> 比 による波照間で観測されたCO <sub>2</sub> 短期変動イベント起源の推定
12:05- 13:30	85		休憩(昼食)	
モデル研究(座長: 石島健太郎)				
13:30- 13:45	15	K- 32	○S. Maksyutov, Y. Koyama (CGER, NIES)	Inverse modeling of the CO <sub>2</sub> fluxes with an Eulerian-Lagrangian transport model and fixed-lag Kalman smoother
13:45- 14:00	15	K- 33	○Tazu Saeki, Dmitry Belikov, Shamil Maksyutov (National Institute for Environmental Studies)	High-resolution simulations of CO <sub>2</sub> and CH <sub>4</sub> using a NIES atmospheric tracer transport model for the estimation of their global column concentrations
14:00- 14:15	15	K- 34	○関谷高志, 須藤健悟(名古屋大院・環 境学)	エルニーニョが熱帯・亜熱帯域の対 流圏オゾン分布に与える影響
14:15-		K-	○須藤 健悟1,2	対流圏光化学場の過去再現シミュ

14:30	15	35	(1名古屋大学・大学院環境学研究科, 2 海洋研究開発機構)	レーション
14:30- 14:55	25	K- 36	○柴田清孝1, Ralph Lehmann2(1 気象 研究所, 2 Alfred Wegener Institute for Polar and Marine Research, Germany)	成層圏化学における pathway_analysisの活用について

ポスター発表（大会議室102: 掲示可能時間: 1日目(10月20日) 17:00~2日目(10月21日) 16:50まで)		
番号	講演者	タイトル
エアロゾル		
P-01	○坂本弘美, 近藤豊, 松井仁志, 茂木信宏, 竹川暢之, L. Sahu, 大島長(東大先端研)	北極域におけるブラックカーボンの季節間変動とその要因
P-02	○原圭一郎 <sup>1</sup> , 長田和雄 <sup>2</sup> , 西田千春 <sup>3</sup> , 矢吹正教 <sup>4</sup> , 上田紗也子 <sup>2</sup> , 橋田元 <sup>4</sup> , 塩原匡貴 <sup>4</sup> , 山内恭 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 福岡大・理, <sup>2</sup> 名大院・環境学, <sup>3</sup> 九大・化学, <sup>4</sup> 極地研)	海洋境界層内の硫酸エアロゾル
P-03	○澤野真規 <sup>1, 2</sup> ・河村公隆 <sup>2</sup> ・宮崎雄三 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学大学院環境科学院, <sup>2</sup> 北海道大学低温科学研究所)	海洋大気中における低分子モノカルボン酸: 気相・エアロゾル相における分布の特徴
P-04	○松井仁志(東大先端研), 小池真(東大院・理), 近藤豊, 竹川暢之(東大先端研), 宮崎雄三(北大低温研)	数値モデルを用いた東アジア域におけるエアロゾル質量濃度・光学特性の都市間比較
P-05	○栗林正俊 <sup>1</sup> , 大原利真 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大学大学院生命環境科学研究科, <sup>2</sup> 国立環境研究所)	東アジアにおける硫黄沈着量の経年変動に関するモデル解析
P-06	○三神良平 <sup>1</sup> , 大島長 <sup>1</sup> , 近藤豊 <sup>1</sup> , 梶野瑞王 <sup>1</sup> , Ramlal Verma <sup>1</sup> , 梶井克純 <sup>2</sup> , 加藤俊吾 <sup>2</sup> , 高見昭憲 <sup>3</sup> , 金谷有剛 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東大先端研, <sup>2</sup> 首都大学東京, <sup>3</sup> 国立環境研, <sup>4</sup> 海洋研究開発機構)	東アジアoutflow域におけるブラックカーボンの観測と領域三次元モデルの比較
P-07	○関山剛(気象研), 田中泰宙(気象研), 清水厚(国環研), 三好建正(メリーランド大)	ライダーによるエアロゾル観測をアンサンブル・カルマン・フィルタでデータ同化する
P-08	○Sebastian Danielache <sup>1</sup> , Naohiro Yoshida <sup>1</sup> , Matthew S. Johnson <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Tokyo Institute of Technology, Department of Environmental Science and Technology, <sup>2</sup> Copenhagen Center for Atmospheric Research, Department of Chemistry University of Copenhagen)	Isotopic fractionation of atmospheric OCS reactions
P-09	○渡邊拓 <sup>1</sup> , 服部祥平 <sup>1</sup> , 豊田栄 <sup>1</sup> , 上野雄一郎 <sup>2</sup> , 吉田尚弘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東工大院・総理工, <sup>2</sup> 東工大・GE研究院)	大気中の硫化カルボニルの硫黄同位体比測定法の開発
P-10	○Chika Minejima(National Institute of Environmental Studies), Paul J. Wooldridge(Department of Chemistry (University of California), Ron C. Cohen(Department of Chemistry, University of California, and Department of Earth and Planetary Science, University of California)	米国加州サンホアキン・バレーに於ける高濃度NH <sub>4</sub> NO <sub>3</sub> エアロゾルへのNO <sub>3</sub> , N <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 化学の寄与
	○衣川高志 <sup>1</sup> , 薮下彰啓 <sup>1</sup> , 松見豊 <sup>2</sup> , 中山智喜 <sup>2</sup> , シンジャワ <sup>3</sup> , 高橋けんし <sup>3</sup> ,	2008年夏季東京都心におけるエアロゾ



P-11	戸野倉賢一4, 川崎昌博1 (1 京大院工, 2 名大STE 研, 3 京大次世代ユニット, 4 東大環安研セ)	ル中の硝酸塩の生成
P-12	○鏡谷聡美1, 中山智喜1, 松見豊1, シンジャワ2, 高橋けんし2, 北和之3, 山崎明宏4, 内山昭博4, 川崎昌博5, 戸野倉賢一6(1 名大院理・STE 研, 2 京大次世代ユ, 3 茨城大, 4 気象研, 5 京大院工, 6 東大環安セ)	エアロゾル消散係数の湿度依存性と化学組成との関係に関する観測研究
P-13	○中山智喜1, 近藤豊2, 茂木信宏2, L. K. Sahu2, 木名瀬健3, 北和之3, 松見豊1 (1 名大院理・STE研, 2 東大先端研, 3 茨城大理)	フィルター光吸収法(PSAP, COSMOS)によるエアロゾル吸収係数測定における系統誤差の実験的評価
P-14	○木名瀬健(茨大院), 北和之(茨大), 小川敬晴(東北大院), 茂木信宏, 石谷拓也, 近藤豊(東大先端研), 松見豊, 中山智喜(名大STE 研)	単一粒径のBC 光特性及び内部混合による変化の定量化実験
P-15	○伏見暁洋1, 橋本俊次1, 田邊潔1, 小林伸治1, 家田曜世2, 落合伸夫2, 笹本喜久男2, 星純也3 (1 国立環境研究所, 2 ゲステル株式会社, 3 東京都環境科学研究所)	加熱脱着GC/MS による大気粒子及びディーゼル排気粒子中PAHs (oxy, nitro, methyl 化体を含む)の高感度定量
P-16	○三原利之(名古屋大学大学院環境学研究科), 持田陸宏(名古屋大学高等研究院)	飛行時間型質量分析計により得られた大気エアロゾル中の極性溶媒可溶成分の特徴
P-17	○内田里沙1,2, 福田さや花1,2, 中川和道1, シンジャワ2, 3, 佐藤圭2, 今村隆史2, 疋田利秀4, 下野彰夫4 (1 神戸大, 2 国立環境研, 3 京都大, 4 三友プラントサービス)	オゾン-イソプレン反応系での二次有機エアロゾル生成
P-18	○財前祐二, 酒井哲, 高橋宙, 五十嵐康人(気象研究所)	黄砂粒子のガス成分による変質の再現実験
P-19	○上野晶鋭1, 廣川淳2(1 北大環境科学院, 2 北大地球環境)	オゾンとNaBr溶液の不均一反応による臭素気体生成に関する研究
P-20	○忽那周三, 堀久男(産総研)	室内実験による乾性沈着地表面抵抗スケーリング係数の評価 -ストリッピング法の適用-
P-21	○河野明男1, 河村洋史1, 草野完也1,2 (1 海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域, 2 名古屋大学太陽地球環境研究所)	大気核生成前駆体としてのクラスターイオンの量子化学的研究
長寿命化学種		
P-22	○竹川翔一郎1, 笹子宏史1, 金田昌廣1, 鳥山哲司1, 杉田明宏2, 宮崎芳郎2, 清水健作3, 柴田耕志3, 中山智喜1, 松見豊1, 川崎昌博4, 井上元5 (1 名大院理・STE研, 2 矢崎総業, 3 明星電気, 4 京大院工, 5 総合地球研)	CO2センサを搭載した小型気球によるCO2高度分布の計測
P-23	○村山昌平1, 松枝秀和2, 坪井一寛2, 澤庸介2, 近藤裕昭1	中赤外LEDを用いた多成分濃度分析計

	(1.産業技術総合研究所, 2.気象研究所)	の開発
P-24	○窪田尚規 横井正治(三洋貿易株式会社 科学機器事業部)	波長スキャンキャビティリングダウン分光計による大気分析
P-25	○山岸洋明 <sup>1</sup> , Nicolas Cassar <sup>2</sup> , Bruce Barnett <sup>2</sup> , Robert Mika <sup>2</sup> , 向井人史 <sup>1</sup> , 野尻幸宏 <sup>1</sup> (1(独)国立環境研究所, 2 Princeton University)	平衡器インレット/質量分析計を用いた溶存酸素/アルゴン/窒素比の連続観測法の確立
P-26	○Tomoko Shirai <sup>1</sup> , Toshinobu Machida <sup>1</sup> , Hidekazu Matsueda <sup>2</sup> , Yosuke Sawa <sup>2</sup> , Shamil Maksyutov <sup>1</sup> , Kaz Higuchi <sup>3</sup> (1.NIES, 2. MRI, 3. York Univ.)	Relative contribution of transport/flux to the seasonal vertical CO <sub>2</sub> variability over Narita in 2007
P-27	○Heon-Sook Kim <sup>1</sup> , Shamil Maksyutov <sup>2</sup> , Prabir K. Patra <sup>3</sup> , Kengo Sudo <sup>4</sup> , Tazu Saeki <sup>2</sup> and Gen Inoue <sup>1</sup> (1 RIHN, 2 NIES, 3 JAMSTEC, 4 Nagoya University)	Estimates of regional methane fluxes using NIES transport model
P-28	○石島健太郎 <sup>1</sup> , 豊田栄 <sup>2</sup> , 吉川知里 <sup>2</sup> , 須藤健悟 <sup>3</sup> , 南部伸孝 <sup>4</sup> , 青木周司 <sup>5</sup> , 中澤高清 <sup>1,5</sup> , 吉田尚弘 <sup>2</sup> (1 JAMSTEC, 2 東工大院・総合理工, 3 名古屋大院・環境, 4 上智大・理工, 5 東北大院・理)	N <sub>2</sub> Oアイトポマー化学輸送モデルの開発
P-29	○坪井一寛 <sup>1</sup> , 若林正夫 <sup>2</sup> , 江崎雄治 <sup>2</sup> , 松枝秀和 <sup>1</sup> , 澤庸介 <sup>1</sup> (1 気象研究所地球化学研究部, 2 気象庁地球環境・海洋部環境気象管理官)	気象庁の温室効果ガス観測システムの更新
P-30	○和田晃 <sup>1</sup> , 村山昌平 <sup>2</sup> , 松枝秀和 <sup>3</sup> , 澤庸介 <sup>3</sup> , 坪井一寛 <sup>3</sup> , 近藤裕昭 <sup>2</sup> , 田口彰一 <sup>2</sup> (1 気象大 2 産総研 3 気象研)	南鳥島および与那国島で観測された大気中ラドンと微量気体の観測
P-31	○町田敏暢(環境研), 松枝秀和, 澤庸介(気象研)	CONTRAILで観測された上空におけるCO <sub>2</sub> 濃度の短周期変動
P-32	○澤庸介(気象研), 町田敏暢(国環研), 松枝秀和(気象研)	CONTRAIL プロジェクトで観測された圏界面付近のCO <sub>2</sub> 分布と輸送
P-33	○M. Sasakawa <sup>1</sup> , K. Shimoyama <sup>2</sup> , T. Machida <sup>1</sup> , N. Tsuda <sup>3</sup> , H. Suto <sup>4</sup> , M. Arshinov <sup>5</sup> , D. Davidov <sup>5</sup> , A. Fofonov <sup>5</sup> , O. Krasnov <sup>5</sup> , T. Saeki <sup>1</sup> , Y. Koyama <sup>1</sup> , and S. Maksyutov <sup>1</sup> (1 Center for Global Environmental Research, NIES, 2 Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, 3 Global Environmental Forum, 4 Japan Aerospace Exploration Agency, 5 Institute of Atmospheric Optics of SB RAS, Russia)	Continuous Measurement of Methane Concentration using 9-tower Network over Siberia
P-34	○稲葉光亮 <sup>1</sup> , 山田桂太 <sup>1</sup> , 吉田尚弘 <sup>1</sup> , 遠嶋康徳 <sup>2</sup> , 町田敏暢 <sup>2</sup> , 高橋善幸 <sup>2</sup> (1 東工大院・総理工, 2 国立環境研究所)	安定同位体比を用いたNovosibirskにおける大気中メタンに対する各生成源の寄与の推定
P-35	○古賀聖治(産業技術総合研究所環境管理技術研究部門), 海保邦夫(東北大学大学院理学研究科)	ペルム紀末における硫化水素の大量放出と大気酸素濃度の急減
	○遠嶋康徳, 向井人史, 町田敏暢, 山岸洋明,	大気ポテンシャル酸素(APO)の変動と海

P-36	野尻幸宏(国立環境研究所)	表面温度(SST)の変動の関係
衛星観測		
P-37	○忠鉢繁(千葉科学大学)	南極オゾンホール開始時期(TOMS データを用いた解析)
P-38	○村田功(東北大学・大学院環境科学研究科), 中島英彰, 森野勇(国立環境研究所)	FTIRを用いたつくばでのCH4高度分布観測
P-39	○香川晶子 <sup>1</sup> , 笠井康子 <sup>2</sup> , Nicholas Jones <sup>3</sup> , Tom Hawat <sup>4</sup> , 村山泰啓 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 富士通エフ・アイ・ピー(株), <sup>2</sup> 情報通信研究機構, <sup>3</sup> University of Wollongong, <sup>4</sup> Denver University)	地上FTSを用いて2000年から観測されたポーカークラウド上空のメタンの季節変化
P-40	○田中智章, 森野勇, 町田敏暢(国環研), 小島啓美, 山口高明, 工藤泰子 (日本気象協会), 太田絵美(富士通FIP), 大山博史(JAXA), 小熊宏之, 内野修, 横田達也(国環研)	高分解能地上フーリエ分光計検定のためのCO2航空機観測
P-41	○宮本祐樹 <sup>1</sup> , 森野勇 <sup>1</sup> , 内野修 <sup>1</sup> , 横田達也 <sup>1</sup> , 町田敏暢 <sup>1</sup> , 澤庸介 <sup>2</sup> , 松枝秀和 <sup>2</sup> , Colm Sweeney <sup>3</sup> , Pieter Tans <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 国立環境研究所, <sup>2</sup> 気象研究所, <sup>3</sup> Earth System Research Laboratory, NOAA)	航空機観測による世界各地でのCO2カラム平均濃度の導出 ~GOSATの検証に向けて
P-42	伊吹紀男, 美濃村満生, 吉岡宏哲, 横山正明, ○薮下彰啓, 川崎昌博(京大院工), 小林菜花子, 井上元(総合地球環境研), 長濱智生, 松見豊(名古屋大学), 村田功(東北大学)	CO2カラム密度計測装置の開発
P-43	○齋藤尚子, 今須良一(東京大学気候システム研究センター)	GOSAT/TANSO-FTS TIR CO2データ導出の初期結果
大気化学		
P-44	E. Schlosser <sup>1</sup> , T. Brauers <sup>1</sup> , H.-P. Dorn <sup>1</sup> , H. Fuchs <sup>1</sup> , R. Haeseler <sup>1</sup> , A. Hofzumahaus <sup>1</sup> , F. Holland <sup>1</sup> , A. Wahner <sup>1</sup> , ○金谷有剛 <sup>2</sup> , 梶井克純 <sup>3</sup> , 宮本和明 <sup>3</sup> , 西田哲 <sup>3</sup> , 渡辺敬祐 <sup>3</sup> , 吉野彩子 <sup>3</sup> , D. Kubistin <sup>4</sup> , M. Martinez <sup>4</sup> , M. Rudolf <sup>4</sup> , H. Harder <sup>4</sup> , H. Berresheim <sup>5</sup> , T. Elste <sup>5</sup> , C. Plass-Duelmer <sup>5</sup> , G. Stange <sup>5</sup> , and U. Schurath <sup>6</sup> ( <sup>1</sup> ドイツ・ユーリッヒ研究所, <sup>2</sup> 海洋研究開発機構, <sup>3</sup> 首都大学東京, <sup>4</sup> ドイツ・マックスプランク研究所, <sup>5</sup> ドイツ気象局, <sup>6</sup> ドイツ・カールスルーエ)	OH測定公式相互比較:HOxCOMP国際キャンペーンの結果から
P-45	○野崎祥志, 中嶋吉弘, 加藤俊吾, 梶井克純 (首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 環境調和・材料化学専攻)	競争反応法によるGC-FIDを用いた大気中OHラジカルの反応性の測定
P-46	○鶴丸央 <sup>1</sup> , 梶田祐貴 <sup>1</sup> , 中嶋吉弘 <sup>1</sup> , 福田さや花 <sup>2</sup> , <sup>3</sup> 内田里沙 <sup>2</sup> , <sup>3</sup> 今村隆史 <sup>3</sup> , 梶井克純 <sup>1</sup> , ( <sup>1</sup> 首都大学東京大学院都市環境	擬似大気チャンバーを用いた光化学反応

	科学研究科, 2 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科, 3 国立環境研究所大 気圏環境研究領域)	生成物のOH 反応性測定
P-47	○佐藤忠1, 宮崎洸治1, 山崎晃司1, 野崎祥志 1, 長田拓也1, 鶴丸央1, 石井康一郎2, Jeeranut Suthawaree1, 中嶋吉 弘1, 加藤俊吾1, 梶井克純1 (1 首都大学東京, 2 東京環境科学研究所)	実大気と発生源における未同定VOCの OH反応性への寄与推定
P-48	○亀井成美1, 中嶋吉弘1, 塚本弥里2, 山崎晃 司1, 長田拓也1, 宮崎洸治1, 加藤俊吾1, 今野秀徳3, 石井康一郎4, 小林伸 治3, 梶井克純1 (1 首都大学東京大学院 都市環境科学研究 科, 2 首都大学東京 都市環境学部, 3 国立環境研究所 社会環境システム研究領 域, 4 財団法人東京都環境整備公社 東京都環境 科学研究所)	自動車排気ガス中微量成分が大気中OH ラジカル反応性へ与える影響
P-49	○陳亮, 忽那周三, 徳橋和明, 関屋章(産総研)	含フッ素不飽和化合物とOHラジカルとの 反応速度の測定
P-50	○鈴木博之1, 中山智喜1, 松見豊1, 高橋け んし2, 戸野倉賢一3 (1 名大院理, STE研, 2 京大次世代ユ, 3 東 大環安セ)	熱分解レーザー誘起蛍光法による窒素 酸化物測定装置の開発と 実大気観測
P-51	○高橋優介, 大野地代, 山崎晃司, 中嶋吉弘, 加藤俊吾, 梶井克純 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科)	紫外LEDを用いたNO <sub>2</sub> フォトリティックコン バーターの開発
P-52	○松本淳(首都大学東京・戦略研究センター)	窒素酸化物測定装置の大気ラジカル反 応性計測への活用
P-53	○住澤寛史1, 坂本陽介1, 山田裕之2, 戸野倉 賢一1 (1 東京大学, 2 交通安全環境研究所)	中赤外量子カスケードレーザーを用いた 自動車排気ガス中の窒素酸化物 計測
P-54	○齋藤亮介1, 廣川淳2, 真船文隆3 (1 北大環境科学院, 2 北大地球環境, 3 東大 院総合文化)	化学イオン化質量分析計を用いた大気 中亜硝酸濃度測定手法の高度化
P-55	○定森健悟, 中野幸夫, 石渡孝(広島市立大 学・情報科学)	硝酸ラジカルと二酸化窒素の反応速度 の圧力依存性の検証
P-56	○弓場彬江1, 瀬良俊樹1, 定永靖宗1, 高見昭 憲2, 畠山史郎3, 竹中規訓1, 坂東博1 (1 大阪府立大学大学院, 2 国立環境研究所, 3 東京農工大学)	清浄地域における窒素酸化物の日内変 動とその要因
P-57	○小橋正1, 定永靖宗1, 弓場彬江1, 加藤俊吾 2, 梶井克純2, 竹中規訓1, 坂東博1 (1 大阪府立大学大学院工学研究科, 2 首都大学東京大学院都市環境科学研究科)	沖縄辺戸岬におけるNO <sub>x</sub> 測定によるオ ゾン生成効率の評価
P-58	○福田さや花1,2, 内田里沙1,2, 中川和道1, 磯 崎輔2, 佐藤圭2, 今村隆史2 (1 神戸大, 2 環境研)	光化学オゾンおよびSOA の生成に対す る紫外線増大の影響
	○榊裕太(北大 環境科学院), 長谷部文雄, 廣	季節変化・日変化に基づく日本周辺地表

P-59	川淳(北大 地球環境科学研究院)	オゾン変動特性の抽出
P-60	○石田圭佑 <sup>1</sup> , 長谷部文雄 <sup>2</sup> , 廣川淳 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学大学院環境科学院, <sup>2</sup> 北海道大学地球環境科学研究院)	輸送過程に起因する東アジア域広域大気質変動の観測的記述
P-61	○G. Morris <sup>1</sup> , H. Akimoto <sup>2</sup> , M. Takigawa <sup>3</sup> , J. Hirokawa <sup>4</sup> , F. Hasebe <sup>4</sup> , M. Fujiwara <sup>4</sup> , K. Miyagawa <sup>5</sup> , N. Krotkov <sup>6</sup> , J. Witte <sup>7</sup> , Y. Kanaya <sup>3</sup> , N. Kellams <sup>1</sup> , and T. Pietrzak <sup>8</sup> ( <sup>1</sup> Dept. of Physics & Astronomy, Valparaiso University, USA, <sup>2</sup> Acid Deposition and Oxidant Research Center, <sup>3</sup> Frontier Research Center for Global Change, <sup>4</sup> Dept. of Environmental Earth Science, Hokkaido University, <sup>5</sup> Aerological Observatory, Japan Meteorological Agency, <sup>6</sup> GEST Center, University of Maryland Baltimore County, USA, <sup>7</sup> Atmospheric Chemistry & Dynamics Branch, NASA GSFC, USA, <sup>8</sup> Dept. of Meteorology, Valparaiso University, USA)	An examination of the impact of air from China on summertime air quality in Japan before, during, and after the Beijing Olympics
P-62	○齊藤伸治, 永尾一平, 神沢博(名大院・環境)	連続測定システムによって観測した都市大気中の非メタン炭化水素に関する研究
P-63	○柴田裕樹 <sup>1</sup> , 山田桂大 <sup>1</sup> , 菊池麻希子 <sup>1</sup> , 服部良太 <sup>2</sup> , 豊田栄 <sup>1</sup> , 吉田尚弘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東工大総理工, <sup>2</sup> キリンホールディングス(株)フロンティア技術研究所)	マイクロ固相抽出-ガスクロマトグラフィー同位体比質量分析法による揮発性有機化合物の水素安定同位体比解析
P-64	○猪俣敏 <sup>1</sup> , 谷本浩志 <sup>1</sup> , 加藤俊吾 <sup>2</sup> , Suthawaree Jeeranut <sup>2</sup> , 金谷有剛 <sup>3</sup> , Pakpong Pochanart <sup>3</sup> , Yu Liu <sup>3</sup> , Zifa Wang <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 国環研, <sup>2</sup> 首都大学東京, <sup>3</sup> 海洋研究開発機構, <sup>4</sup> 中国科学院大気物理研究所)	2006年6月中国泰山山頂での集中観測におけるPTR-MSを用いたNMVOC測定
P-65	○岩崎絵利果 <sup>1</sup> , 千葉仁 <sup>1</sup> , 中山智喜 <sup>1</sup> , 松見豊 <sup>1</sup> , T. J. Wallington <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 名大院理・STE研, <sup>2</sup> フォード自動車)	低分子量アルケン類とCl 原子の圧力依存反応の研究